

会 議 録

会議の名称	令和4年度 門川町竹名地区住民説明会
開催日時	令和4年7月3日(日) 19時30分 ~ 21時00分
開催場所	門川町竹名地区公民館
出席者	竹名地区長：水永 様
	竹名地区住民：他23名(男性：13名 女性：10名)
	門川町環境水道課(担当)：甲斐課長、川越補佐、内田係長
	構成市町村：鈴木課長(日向市) 田村課長(美郷町) 甲斐課長、黒木主査(諸塚村)
	黒木課長(椎葉村)
	広域連合：吉田事務局長、田中補佐、黒木係長、尾前主査
建設技術研究所(コンサル会社)：林室長、梁田技師	
議 題	別紙のとおり
会議資料 の名称 及び内容	・資料1 次期広域最終処分場候補地選定に係る説明会
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

説明会内容	
1	開会
2	<p>あいさつ（区長・担当課長）</p> <p>門川町竹名地区区長からあいさつ</p> <p>門川町環境水道課長（担当課長）からあいさつ</p> <p>参加者の紹介</p> <p>（門川町役場環境水道課（担当）／甲斐課長、川越補佐、内田係長）</p> <p>（構成市町村／日向市環境政策課：鈴木課長 美郷町町民生活課：田村課長 諸塚村住民福祉課：甲斐課長、黒木主査 椎葉村税務住民課：黒木課長）</p> <p>（広域連合／吉田局長、田中補佐、黒木係長、尾前主査）</p> <p>（コンサル／林室長、梁田技師）</p>
3	説明（進行：門川町環境水道課）
説明会次第	
・次期広域最終処分場用地選定に係る説明会（資料1）	
【事務局】	（資料1「次期広域最終処分場用地選定に係る説明会」について、資料内容に沿って説明する）
【司会】	<p>これより質疑応答を始めていきたいと思います。</p> <p>資料P23に伺いたい旨2点挙げております、①候補地の状況と②最終候補地の選定方法についてご意見をいただきたいと思います。なお、意見のある方は挙手のうえ、一問一答形式でお願いします。</p> <p>それでは、何かご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか？</p>
【地区住民】	<p>資料P15の地図でいくと、（候補地が）農業用水ダムの上に位置していると思う。これから下に行ったところの、広域農道付近に自宅があるが、その距離というのは処分場の近くにはならないのか？</p> <p>川が自宅までつながっているの、災害が発生したときを考えるとすごく怖いし、それでなくても水が溢れてくるところなので、地図で見ると遠く感じるが、直線距離だとそこまで離れていないと思うが、どういうものか？</p>
【事務局】	<p>今回お示ししている赤色点線部分には、防災調整池というものを整備しまして、雨水等が集中して流れないように一時的に貯留し、状況にあった放流を行うこととしております。ご心配されている大雨等への対策として整備する施設とご理解いただければと思います。</p>

- 【地区住民】 (処分場の) 建設場所と川との間にそれ(防災調整池)を設置するのだろうけれども、そこは急峻な山になってると思うが、場所は反対側の山手になるのか？
- 【事務局】 現段階で想定しているのは、アクセス道路を造成した上で、赤色点線の範囲内に埋立地や浸出水処理施設、また先ほど説明した防災調整池などを設置する予定となっております。
- 【地区住民】 (地図だけで見ても) 距離が少し分かりづらい。
- 【事務局】 防災調整池を整備することで、現状の集中した水が流れて溢れてくるようなことが(処理場を通して)発生しないような取組を行うものです。
- 【地区住民】 (処分場の建設候補地が) 川向こうであれば、そういった心配がなくなるので、そういった検討をしてもらえるとよかったと思う。
- 【事務局】 そういったご意見等をいただきながら協議を重ねていきまして、最終的に処分場を建設するとなった際には、いただいたご意見等をしっかりと反映させた形で事業執行を行っていきたいと考えております。
- 【司会】 今のご意見については、集中豪雨に関するものと思いますが、事務局から説明があったとおりの回答内容でよろしかったでしょうか？
- 【地区住民】 過去(のニュース)に、集中豪雨などで土砂崩れが発生したという話も聞いているので、非常に不安である。
- 【地区住民】 用水路が、下から海水(満潮)によって溜まってしまい、前の田んぼが水害を受けたことがあるし、上から流れてくる水も詰まるので車も通れない状況になる。
- 【事務局】 防災調整池を整備する際、概ね30年に1度降るような雨量でも十分に対応することが可能であり、下流域に一度に流れ出ないような仕様を想定しております。
- 【地区住民】 今は、何が起こるかわからない。福島原発のときも、あんな(大規模な)地震があったから。その辺りまで、しっかりと考えてくれるなら話も分かるけど。
それと、溜め池の上に処分場ができれば、その下にある田んぼが風評被害を受け、そこから米を買わないということになると思う。何も無いところで取れた米の方が安心なので、そのようなリスクをわざわざ背負いたくない。
- 【事務局】 風評被害についてのご意見ということですが、そういったことが発生しないように施設の安全性のPRやモニタリング情報の公開等を積極的に行い、風評被害の未然防止に努めていきたいと考えております。また、日向市にある現処分場周辺での風評被害があったという報告は受けておりません。
現処分場の位置が分かる航空写真や図面をお持ちしておりますので、スクリーンをご覧ください。

【事務局】 今お示ししているのは、日向市富高地区にある現最終処分場を上空から撮影した写真で、中心にある赤色のピンマークのところに処分場が位置しております。黄色の点線で円形範囲をお示ししているのは、現処分場からの距離であり、手前から750m～2.0kmの範囲で記載しているものとなります。

750m付近には公共施設である富高保育園があり、1.0kmを超えたあたりでは市街地に入る上に、塩見小学校や日向中学校があります。1.5kmでは日向市役所、2.0kmの範囲では日向市駅が入るような状況であり、案外町場に近いところに位置していることが分かると思います。

次のスライドは、周辺民家や農地等の状況を整理した図面となりますが、最寄りの民家が現処分場の中心から約400m、外周からだと約200mのところに位置しており、750m～1.0kmの範囲を見るとかなりの数の民家が入ってくるようになります。

現処分場から約500mより下流に多数の田が存在しております。建設から約20年以上経過しておりますが、健康被害や風評被害というものは一切ございません。このような施設を造っていくというものでございます。

建設技術面でも、現処分場は約20年前のもので、現在では格段に向上しており、より高いレベルで造成されるものであります。

平成18年あたりに、諸塚村が床上浸水するほどの大雨が降ったことが記憶に新しいと思います。そういった災害をいくつか経験している処分場ですが、それでも損壊しない、丈夫な施設を造るといのが構造基準としてあります。いろいろとご心配される部分があるとは思いますが、約20億～30億円という事業費をかけて行う大規模な公共事業ですので、かなりしっかりしたものができると考えております。

竹名地区の航空写真もお持ちしておりますのでお示ししますが、建設する想定での場所は決まっておきませんので、中心を街中に近い所に設定し、そこからの距離という形で記載をしております。中心から約750mのところにあるのが一番最寄りの民家となり、先ほどの日向市の状況と比較すると、竹名地区の500m～750mの範囲には民家が1軒もない状況であります。

1.0kmの範囲では竹名公民館が入り、広域農道の横に位置している田が建設すると想定した場合の下流域に位置するものであります。航空写真での説明は以上となります。

【地区住民】 二次候補地までは公募地があったと思うが、三次候補地3箇所には公募地が入っていないのか？

【事務局】 三次候補地の中には入っておりません。

【地区住民】 選定条件の中に、周辺民家や公共施設から（距離が）遠かったから竹名が（三次候補地に）決まったというようなことが書いてあるが、近かったら何

か弊害あるのか？例えば、公害が出る、煙がいく、臭いがするといったことが発生するからなのか？

もし、そういった公害等がないのであれば、街中に造っても問題ないのではないか？

【事務局】 今言われた距離における課題という点については、一般的な観点として処分場は迷惑施設であるという認識を持たれていますので、全国的な事例を参考に検討した結果、他の選定基準と同様にこのような距離を基準として設けることで、候補地としての適性を測ることができるものと考えたところで。

【事務局】 担当から説明があったとおりですが、この距離だけではなく、多数の項目を評価して総合的に評価、評点を付けた中でこちらの候補地が残ったということでございますので、単に距離だけで三次候補地に残ったわけではないということをご理解いただきたいと思えます。

また、弊害について我々はないものと認識しております。排水の基準に対しましても、先ほど説明の中にあつたとおり通常の河川よりもきれいにした水を放流しております。それから、臭いなどの臭気を出さない工夫も行ってありますので、そういった心配もございませんが、一般の方はそういった心配をされると思うので、心配をおかけしないようにという一つの配慮として距離を設定したところでございます。

どうしても心配であると思われる方は、そういったところを一番知ることができる視察会にぜひご参加いただければと思えます。

【地区住民】 いや、私は絶対に行かないけれども、そういった迷惑施設が付近にできることで、環境悪化の原因に繋がると思っている。その評価で、社会・生活環境の評価も高評価だったから三次候補地の中に残ったと思うが、どのような調査を行ったのか？

【事務局】 竹名地区の候補地は、社会・生活環境の評価は低い方だったと思えます。

【事務局】 調査内容につきましては、図面や地図をもとに、周辺民家や公共施設を含む土地利用状況の把握、農業振興地域などに該当しているのかどうか、水道水源があるのかなど、状況の聞き取り調査も含めて行ってあります。

【地区住民】 今現在の住民が、どのような環境の中でどんな不安を抱えて生活しているのか分かっているのか？

【事務局】 そういったご意見などをいただくために、このような場を設けさせていただいております。

【地区住民】 水が出れば、不安や心配で夜も眠れない日がある。車も夜中にどんどん通れば一睡もできず、牛が餌を食べなくなったこともある。実際にそういうことが起きているのを、あなたたちは調査したのかと聞いている。

【事務局】 言われたような道路の通行状況や景観、大気等への影響など、現地に関する詳細な調査というのは、最終候補地1箇所に絞り込みを行う際に評価するものですので、これから行っていく予定としております。

【地区住民】 広域農道を通したときも、草刈の話があったが、結局側溝から60cmまでしか見てくれず、結果的に草が生い茂ったところを住民が自己処理しなければならない状態である。(公共事業は)そういった(お粗末な)状況ではないか。広域農道を見れば、もう木が生い茂ってきているのに、後からの話だから知らないと言われる始末ではないか。

要は、土地利用状況などを調査したと言っているが、平地だから通行しやすい、谷があるから造成しやすいなど、結局はそういうところしか見てなくて評価をしているのではないか？

【司会】 大変失礼ですが、今ご質問されているのは、資料P10 三次候補地の選定の評価項目の中で、社会・生活環境がどのように評価されているのかということでしょうか？

【地区住民】 そうである。

【事務局】 社会・生活環境の評価項目につきましては、土地利用状況の把握として現在どのような利用をされているのか、農業振興地域などに該当しているのかどうか、周辺民家や公共施設が候補地からどの程度の位置にあるのか、水道水源が付近にあるのかななどを、地図等での机上調査と現地調査も含めて行ったところです。

評価の中では、竹名地区と比較した際、他の候補地の評価の方が高い部分がありますが、三次候補地に残っていないということは、社会・生活環境とは別の評価項目が低い評価となっていたということになります。

【地区住民】 評価点数は住民には見えないので分からない。候補地それぞれの点数を教えてくださいませんか？

【事務局】 評価内容については、用地選定検討委員会において学識経験者等含む委員の皆様のみ協議資料として開示しているものですので、一般向けにはご提示しておりません。

【地区住民】 そういったところは、先ほど話した詳細な説明の部分にあたるのでは？住民にも示すべきではないのか？

【事務局】 現段階における評価というのは、候補地を最終的な1箇所に絞り込んでいくといった選定作業を行うためのものであり、最終候補地1箇所に決定したわけではありません。ですので、公表等はしておりませんが、この評価をもとに選定を行っております。

【地区住民】 住民は、そういったところが気になってしまう。先ほど言ったとおり、住民はいろいろな不安や心配を抱えながら生活している。そんな中、いきなり

処分場を建設しますという話を持ってこられて、こういった経緯で候補地を選定してきたと話をし、各候補地の評価内容は項目を見せるだけ。

それで、ここの評価は低かったが他の項目が高かったなどの説明はされるが、その詳細な点数などは開示されない。それで、しっかりとした説明を住民に対して行っていると言えるのか？住民も納得すると思ってるのか？

【事務局】 今おっしゃっているのは、例えば広域農道の整備後の管理が悪いというような、身の回りの公共施設に対するご不満を訴えているのでしょうか？

【地区住民】 それもあるが、(事業を) やるときはこうしますと言っているが、(その後になると) 何もしないではないか。住民ばかりに負担させているではないか。

【地区住民】 川が氾濫して溢れるので、土砂だまりなどを除去してくれと要望してもなかなかしてもらえていないのが現実としてある。そういうことがあるから、今度新しいものができるというのと、今までの対応不備な経緯が相まって、理解できないということだと思ふ。

【事務局】 おっしゃる意味が理解できました。今回の処分場建設に関しましては、仮に竹名地区が最終候補地として決定された場合、整備を行うまでに地元の方々と協定を結ぶ形で、安全性を確保するために水質の基準や搬入出の台数制限、地元の方の立会などをどうするのか、そういう方針を定めていくため、地元の方々と協議会を作ってください、安全を担保するのに関与してもらおう、そういった仕組みを作ることにしたいと思います。

その協定は、整備を行うまでに取り決めますので、皆様の様々なご意見やご要望等をご中に入れていく形になると思います。他の公共事業等にご不満があったかもしれませんが、今回我々が目指している処分場建設に関しましてはそういったことがないように取り組んでいきたいと思っております。

【地区住民】 候補地は、竹名地区の水源地である。辿ると田んぼがあり、全てその水源を利用している。その辺りのことは、分かっているのか？

それと、メタルフォージのところからも水が流れてきているが、あまりきれいな水ではないので、せめて周り水だけはきれいな水を流してほしいと思っている。

また、年々様々なものが建設されていて、そのせいで水かさがどんどん増してきており、雨天時は特に怖い思いをしている。今度また新たに建物が建設されると、さらに水かさが増すような気がしており、その辺りの説明をされているのだろうけれども、曖昧でいい加減なことばかり言っているように聞こえるので、そこをしっかりと説明してほしい。絶対反対である。

【事務局】 候補地付近にある溜め池が水源地となっており、下流域に広がる田んぼ全てに農業用水として利用しているということについては、現地調査の段階で

把握しておりました。それにつきましては、3点ほど検討しておりました、①工事等における濁水処理について、②放流水による溜め池の水質の変化、③処分場建設における溜め池の流入量の減少、これらが課題として想定されるということです。

①では、水をきれいになるまで処理した上で放流する形を、②では、溜め池に直接放流せずに迂回して放流させる形を、③では、処分場の上流側に降った雨水等を直接処分場に流入させる水路とは別に溜め池の方に流入する水路を形成することで対応可能であると考えております。

また、メタルフォージのお話も出ましたけれども、排水については先ほど説明の中でもありましたとおり、水質基準を下回った処理水を放流するものであり、身近にある河川等の原水と比較しても遜色なく、それ以上にきれいな水となっております。

【地区住民】 併せてだが、中山の方に処理工場があるが、そこから出る排煙もこちら側にきており、そのような空気が流れてきていると思うと、とても心配だったのに、また新たに建設されるとなれば、さらに悪い状況になってしまう。

【事務局】 ご意見のあったのは、栄ヶ丘にある清掃工場のことと思いますが、現在は焼却処理は行っておらず、中継施設としてゴミを受け入れる施設としておりますので、その点についてはご理解いただきたいと思っております。

【地区住民】 メタルフォージは敷地が広く、騒音がうるさいという苦情が多く寄せられていた経緯があり、3年に一度騒音の検査を実施している。建設予定地が、ちょうどメタルフォージの産廃置き場の裏側に位置しており、処分場を建設した際には騒音や振動などで影響があることが想定される。

また、8tダンプで1日あたり4台程度を想定していると言われていたが、搬入路の入口にあたる場所は10tダンプが往来していて、道路幅次第かもしれないが、離合などで苦情が出る可能性があると思うので、メタルフォージと協議する必要があると考えている。

また、過去にあった話だが、ダイオキシンや酸性雨など、そういったところの被害というのは想定されないのか？

【事務局】 メタルフォージから出る騒音・振動が処分場に影響するかどうかというのは、今後現地調査に入らせていただいた際、影響等についても確認させていただき、評価に反映させていきたいと考えております。

道路につきましては、現在想定しております平日の午前午後8tダンプが各1台と週に4台程度4tダンプが出入りするということで、ここも現地調査の際確認させていただきたいと考えております。

ダイオキシン等については、国や地方公共団体が継続して調査及び常時監視を行っております。また、ばく露によるリスク等について調査・研究が続

けられており、測定・分析に係る精度向上についても常日頃研究が行われております。その中では、ダイオキシン類は自動車等の排出ガスやタバコの煙、野焼きなどでも発生しており、大気中には常に存在しておりますが、低濃度であれば日常生活を送る上では問題ないことが確認されております。

(スライドでダイオキシン類の検査結果比較表を例示して説明)

なお、処分場などでも常時監視を行っており、検査された各数値は設定された基準値よりも大幅に下回っておりますので、生活への影響はないものと考えております。

【地区住民】 今回、一般廃棄物のみとしているが、絶対に産業廃棄物の持ち込みはないのか？

【事務局】 一般廃棄物のみであり、産業廃棄物は絶対にありません。

【地区住民】 仮に最終処分場が建設されたとして、日向市の場合 20 年くらいで満杯ということだったが、この場合はおおよそ何年くらいの想定なのか？

【事務局】 埋立満了予定につきましては、現在のごみ排出実績と将来の人口予測を掛け合わせて算出した、想定される満了期間は約 15 年の見込みとしておりますが、今後のごみ排出量の減少次第では、完全に埋立容量を満たすまで活用させていただき関係上、期間が延長となる可能性があります。

【地区住民】 今後も、この地区で生活していく方々もいるので、その期限やその後の取り扱いというのも心配になると思う。

【事務局】 埋立満了後も、すぐに処分場の管理が終わるわけではなく、そこから出てくる水処理が問題ないレベルになるまで続けていくものであり、地域によっては満了後 30 年以上管理しているところもありますので、その点につきましては重々気を付けていきたいと考えております。

【事務局】 誤解されるといけませんので、少し補足をさせていただきます。日向市の処分場も、元々は 15 年の設計でした。ところが、当初設計した時期以降でごみの分別化が始まり、結果的に期間が伸びた状態となったものです。

同様に、今回約 15 年で設計した上で建設した後に、社会上の制度が大きく変わることがあれば、当然対応する年数も変わってくるということをご理解いただきたいと思います。

【地区住民】 資料 P7 にある測量設計や環境調査などは、令和 9 年度までに実施する予定となっているが、最終候補地が決定した後に調査などするのか？

【事務局】 令和 4 年度までに最終候補地を決定しまして、ボーリング調査などを実施した上で令和 9 年度までに測量設計や環境調査などを行う考えですので、最終候補地 1 箇所に対して行うものとなります。

【地区住民】 ボーリング調査は、最高でどの程度の深度を想定しているのか？

【事務局】 これから設計をしていく際に行うボーリング調査の深さというご質問で

あると思いますが、山の形状にもよるところですが尾根部については30m～50m以上のかなり深い所まで掘った上で岩盤調査などを実施する想定をしております。

沢部においては、そこまで深く掘らなくても硬い部分がすぐ出てくるといいますので、深くても10m～20mという形で、地点ごとに合った調査内容としていく考えでございます。

【地区住民】 メタルフォージは、80m～100mほど掘っているの、その辺りも参考にしっかりと調査をしてもらいたい。

【事務局】 できましたら、そういった参考となるデータなどあれば活用させていただきたいと思っておりますので、ぜひご協力をよろしくお願いいたします。

【地区住民】 非常に皆様が心配される施設であると思うが、どこかに必ず必要な施設であるということだけははっきりしていることである。

竹名地区にあるのは、間口が200mもない非常に狭い谷であり、そこに4本の河川が流れてきている。それで、先ほどあった水が一気に流れてきた際、冠水してしまうというのは目に見えていることであって、そこを皆さんは心配されていることだと思うので、十分に配慮していただきたい。

それと、現地に行かれたということで、裏山は約300mあり急峻である。その降水面積はかなり大きいもので、先ほど約30年に一度程度の雨量と話があったが、皆さんそこを心配されているのが大きく、十分に考えておく必要があると思うので、150%でも200%でも大きく想定をした上で、建設を考えていただきたい。

これは、竹名地区だけではなく、どこの地区に建設するとなっても、ぜひ慎重にやっていただきたい。大変な事業であると思うが、ぜひ頑張ってください。

【司会】 大変貴重なご意見をありがとうございます。事務局一同、ぜひ参考とさせていただきます。

その他、ご意見等はございませんでしょうか。

それでは、挙手の方もないので、時間も押している中で大変申し訳ありませんが、ここで質疑応答を終了したいと思います。

続きまして、本日の説明会を踏まえて、最終処分場の選定や今後のスケジュールなどに関してご意見等ありましたら、日向東臼杵広域連合業務第1係もしくは門川町役場環境水道課までお問い合わせいただければと考えております。

また、日向東臼杵広域連合のホームページのお問い合わせフォーム、資料の最後のページにありますQRコード、もしくはホームページの方からもアクセスできるような状況となっております。

これまでの、三次候補地選定に係る資料も公表させていただいておりますので、ご確認いただければ幸いです。

最後に、現処分場見学会についてご案内します。現在使用している日向市一般廃棄物最終処分場の見学会を7月16日（土）に開催いたします。処分場の周辺や埋立状況、埋立している灰などを実際にご覧いただく良い機会となると思います。詳細は案内文書に記載しておりますが、電話にて申込みいただきまして、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

それでは、以上を持ちまして次期広域最終処分場用地選定に係る住民説明会を終了させていただきたいと思っております。本日は貴重な時間をありがとうございました。

～ 閉 会 ～